

## 研究の概要

### 1 研究主題

# 主体的に考え動く児童の育成

～4つの部会の取り組みの充実を通して～

### 2 主題設定の理由

本校では、これまで算数科の授業づくりを通して「粘り強く解決し、学びを深める児童の育成」を行ってきた。見通しを持って課題に取り組み、自分の考えを視覚化して他者に伝えようとする力を伸ばしてきた。しかし、授業中に発表をしようとする児童が偏りがちであること、発表する言葉を教師に台本を書いてもらわないと言えないこと、指示されたことはできるが自分で考えて取り組むことが苦手であることなどから、自信がなく、自己肯定感が低い傾向にある児童が多いと考えられる。

人工知能やIoTなどが発展し、これからの社会は大きく変化していくと言われている。令和5年3月8日に文部科学省から出されている「次期教育振興基本計画について(答申)」では、Society5.0の時代において、「主体性」、「リーダーシップ」、「創造力」、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「表現力」、「チームワーク」などの資質・能力を備えた人材が期待されていると明記されている。算数科に限らず、学校の教育活動全体を通して「主体的に考え動く児童の育成」を行うことが今日的な課題であると考え、本研究主題を設定した。

「主体的」とは、必要なことを自分で考え、判断し、行動することであると捉えている。そのためには、教師が指示を与え、すべきことを示すばかりでなく、「どうしたいか」「何ができそうか」と子ども達に問いかけ、実践できる環境をつくらなければならない。また、実際の取り組みを通して、うまくいったことをフィードバックし、うまくいかなかったことも前向きに改善につなげていけるような教師の関わり方が必要であると考えます。

これまで、決まった行事や教育活動を提案通りに進めるだけで終わっていたが、「主体性を育むための工夫・改善ができないか」「児童の思いを実現させるための教師の支援」「活動の評価と振り返り」「今後の教育活動に生かす」といったPDCAサイクルを積み重ねることが必要である。本年度は、これまでも行ってきた学力向上部、生徒指導部(心育)、特別活動部(ときめき)、保健・体育部(体づくり)の4部会の取り組みを「主体性を育む」という視点を軸にして更なる工夫・改善を行っていく。

### 3 研究目標

4つの部会の取り組みにおいて、児童が主体的に考え、判断し、行動できる力を向上させる指導の在り方を探る。

### 4 研究仮説

教育活動全体を通じて、PDCAサイクルを活用して「主体性を育む」ことを軸とした4つの部会の取り組みの充実を図ることで、児童の自己肯定感を高め、自分たちでよりよい学校生活をつくり出す喜びを味わわせれば、主体的に考え動く児童を育成していくことができるであろう。

### 5 研究の内容と手立て

#### (1) 目指す児童の姿の設定

各部会

#### (2) PDCAサイクルの活用

各部会

##### ① P 目標設定・計画・準備

各部会で主体性を育むための取り組みについて話し合い提案する。各部会の提案をもとに、どのように実践していくか、全体研究会や学年部会でより具体的に話し合う。このとき、児童に決めさせる部分と、教師が決定しておくべき部分についても十分に検討する。

##### ② D 実践・活動

児童にどのような取り組みを行っていきたいか意思決定をさせ、実践させる。児童はこれまで主体的に行動してきた経験が少ないため、教師が様々な選択肢を示して考え方を広げていく。また、児童の思いが実現できるような指導助言や環境づくりも行う。

③ C 評価・反省・振り返り

ア 児童への評価・振り返り

個や集団の主体的な姿や頑張り・成果を認め、達成感を味わわせることで自己肯定感や自己有用感を高めていく。また、PDCAを積み重ね、数回の取り組みを経て伸びてきた力を実感させることで、さらに主体性が育まれていくと考える。

イ 職員の反省・振り返り

取った手立てが主体性を育むことに有効であったか、さらに主体性を伸ばすために改善することは何かを考え、記録として残していく。

④ A 改善・次回につなぐ

振り返りをもとに、今後も続けていった方がよいこと、他の場面でも活用できそうなことや改善が必要なことを整理し、次回の提案や取り組みにつなげていく。

(3) 各部会における取り組みの充実 各部会

①学力向上部（学力向上チーム）による学習基盤の確立と学力向上のための指導法改善

ア 学習規律・学習基盤についての共通理解

イ 一人一台端末の活用推進

ウ 家庭学習強化週間やノートコンクールでの学習習慣の確立や学習意欲の向上

エ みてみて授業による職員のスキルアップ

②生徒指導部（心育てチーム）による生活指導と心の教育

ア 生活の4つの約束の指導での進んできまりを守る児童の育成

イ 心の教育の充実

ウ 安全指導の充実

③特別活動部（ときめきチーム）による集団づくりや課題解決の能力の育成

ア 学級活動による集団づくりや話し合い活動の充実

イ 委員会活動の創意工夫

ウ たてわり活動での異学年交流の推進

エ 代表委員会での課題解決やよりよい学校生活づくりの推進

オ クラブ活動による集団活動や計画・運営の能力の育成

カ 学校行事

④保健・体育部（体づくりチーム）による健康・安全な生活づくり

ア 体育的行事を通しての主体性の向上

イ 保健指導の充実

ウ 食育指導の充実

エ 給食指導の充実

(3) 具体的な取り組み方の検討 全体研究会・学年部会

- ①PDCAのPにあたる。各チームからの提案について「主体性を育むための具体的な実践方法」「教師が決めておくことと児童に意思決定させてよいこと」の視点で話し合う。

(4) 日々の学習指導・学級経営及び職員のニーズに合わせたスキルアップ研修

- ①取り組みの交流（学級での実践や掲示物の工夫など）
- ②スキルアップ研修
  - ・学習指導（教科の指導、学習の流れ、ICTの活用、板書の工夫、指示説明の仕方、対話活動、ノートの書き方など）
  - ・特別活動（話し合い活動、係活動の活性化、キャリア教育、学級集団作りなど）
  - ・学級経営（給食指導、掃除指導、朝の会や帰りの会、宿題の出し方やチェックの仕方など）

## 6 研究の方法

- (1) 資料及び文献による理論研究
- (2) 各部会の取り組みを中心とした実践的研究と検証
- (3) 講師招聘による指導助言、講話
- (4) 先進校視察
- (5) 児童アンケート作成・実施・分析

## 7 研究の組織

### (1) 組織図



### (2) 組織の内訳

- ①研究推進委員会・・・校内研究の骨子を作成し、研究の深化と効率化を図る。全体研究会で出た問題について協議し、解決を図る。
- ②4部会・・・・・・・・校内研究との関連を図りながら、主体的な児童の育成に向けての取り組みを提案する。また、取り組みについてふり返り、改善点を協議する。
- ③全体研究会・・・・・・・・研究推進委員会や4部会から出された内容について協議をし、共通理解を図る。4部会からの提案について具体的な取り組み方を協議し、共通理解を図る。
- ④学年部会・・・・・・・・学級担任、級外が低・中・高学年部、特別支援部に所属し、それぞれの児童の発達段階や特性に応じた実践研究を進めていく。

## 8 年間計画

## 令和5年度校内研究年間計画

月	校内研修	全体・学年	学力向上	心育で	ときめき	体づくり
4	3日(月) チーム会議 (目標・年間計画)	始業式 赴任式 入学式 3年面作り	(通年)一人一台 端末活用推進 (通年)学力向上 学習規律の共通 理解 学習の基盤づく り	(通年)生活の4 つの約束指導 (通年)心のアン ケート・児童理 解 学校のきまり共 通理解 清掃指導	(月1回)委員会 活動 (年8回)クラブ 活動 (月1回)たてわ り活動 (通年)キャリア 教育	体力テスト
	5日(水) 研究推進委員会					
	11日(火) ① (今年度の研究)					
	12日(水) チーム会議					
	26日(水) ② (体:運動会)					
5	1日(月) チーム会議 (4月振り返り)	低学年学校探検 3年町探検	生活チェック	避難訓練	代表委員会 クラブ紹介・編 成	運動会練習
6	21日(水) ③ (学:宿題の出し方)	2年町探検 5年田植え 6年平和学習	図書まつり 家庭学習強化週 間 ノートコンク ール		代表委員会 児童集会	運動会 プール掃除 体力テスト プール開き
	28日(水) チーム会議 (5・6月振り返り)					
7	12日(水) ④ (日常の活動、学級経営)	4年文化財見学	学力テスト分析	平和集会 大掃除		給食試食会
	24日(水) ⑤ (学:学状分析、授業改善)					
8	23日(水) ⑥ (学:ICT活用状況)		実践交流会	特別支援研修		
	30日(水) ⑦ (心:生活の4つの約束)					
9	6日(水) ⑧ (修学旅行・宿泊学習)	2年おもちゃま つり 3年校外学習 5年宿泊学習	生活チェック 漢字・計算フェ スタ	ふれあい道徳	児童集会	
	13日(水) チーム会議 (7・8月振り返り)					
	27日(水) ⑨ (と:明倫まつり)					
10	10日(火) チーム会議 (9月振り返り)	前期終業式 後期始業式 修学旅行 2年図書館見学 5年稲刈り			代表委員会 児童集会	スポーツチャレ ンジ推進
11	22日(水) ⑩ (心:人権教育)	2年町探検	ノートコンク ール 図書まつり 家庭学習強化週 間	避難訓練 人権教育実践週 間	明倫まつり 感謝の会	
	29日(水) チーム会議 (10・11月振り返り)					
12	14日(水) ⑪ (体:マラソン大会) ☆研究のまとめ提案・作成	4年命の授業		人権集会 大掃除	委員会紹介 クラブ見学	
1	5日(金) チーム会議 (年間振り返り)	4年2分の1成 人式 6年卒業プロジ ェクト	生活チェック 漢字・計算フェ スタ		代表委員会 児童集会	ジョギングタイ ム マラソン大会
	31日(水) ⑫ (と:6年生を送る会)					
2	7日(水) 研究推進委員会		ノートコンク ール	避難訓練	新委員会編成 6年生を送る会	
	14日(水) ⑬ (次年度)					
	21日(水) チーム会議 (1・2月振り返り)					
3	☆研究のまとめ完成	卒業式 修了式		大掃除		

# 明倫小学校 学校教育目標

いい顔 いい声 いい動き

笑顔で

進んで自信をもって、  
取り組む

前向きに

友達と認め合い  
高め合う

考え、動く

目標に向かってよりよい  
行動を考え 実践する

【研究主題】  
主体的に考え動く児童の育成  
～4つの部会の取り組みの充実を通して～

あいさつが上手になったな。  
リーダーからもっとあい  
さつを広げたかったな



あいさつリーダーにあ  
いさつチャンピオンを  
選んでもらって表彰し  
てみようかな。



よかったところは  
もっと工夫できそ  
うなところは

C  
評価・反省  
・振り返り

A  
改善  
次回につなぐ

次の活動でも続け  
たいことは  
改善することは

主体的な活動になるよう  
な指導・支援の工夫  
色々な選択肢を知らせる

D  
実践・活動

P  
目標設定・  
計画・準備

主体性を伸ばすた  
めにどのような取  
り組み方をするか

あいさつ選手権をやってみよ  
う。各学年からあいさつリー  
ダーを募集しよう→取り組み



あいさつが上手な明倫  
小学校にしたいな。



## 学力向上

ICT 利活用  
学習規律  
学力向上  
見通しを持つ  
対話力  
思考力

## 心育て

生徒指導  
生活の約束  
心の教育  
安全教育  
清掃指導

## ときめき

学級活動  
キャリア教育  
学校行事  
児童会活動  
たてわり活動  
クラブ活動

## 体づくり

体育的行事  
体力向上  
保健指導  
食育指導  
給食指導

主体的な子どもを育成するための指導力向上